

耳マーク、例会、会報、理事…
協会のウラ側をのぞいてみよう

東京都中途失聴・難聴者協会 8月例会

中難協って 何してるの？



中難協(東京都中途失聴・難聴者協会)は、今年で設立40周年。

耳マークの普及や情報保障の推進、行政への働きかけなどを通じて、聞こえにくい人が安心して暮らせる社会づくりに取り組んできました。

その歩みは、地域や社会へと広がっています。

今回の例会では、昨年50周年を迎えた耳マークの歩みとともに、会報や例会ができるまでの舞台裏、事務局や理事の活動、全国とのつながりなど、普段はなかなか見えない協会の“中”をご紹介します。

40年の活動の一つひとつを、だれかが動かしてきました。

長いお付き合いの方も、最近入った方も、関心はあるけれど…という方も歓迎です。



協会ニュースの発行
会員の皆さんに情報をお届け



例会の開催
学びと交流の場をつくっています



理事会・委員会の活動
よりよい協会運営を目指して

要約筆記・情報保障の充実
聞こえにくい人の参加を支えます



日時

2026年8月23日(日)

13:30～16:00
(受付開始13:00)



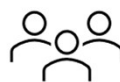
会場

東京都障害者福社会館 2階 B1・2
(東京都港区芝5-18-2)



情報保障

要約筆記
手話通訳
ヒアリンググループ



定員 40名
事前申込み不要



参加費
会員・非会員ともに無料

【問合せ】 特定非営利活動法人東京都中途失聴・難聴者協会 事務局
東京都新宿区新宿2-15-25カテリーナ御苑202
FAX 03-5919-2563 TEL 03-5919-2421 E-mail info@tonancyo.org